



植草 たけし 通信 Ue Takeshi Report

発行 植草たけし政務活動事務所 〒260-0031 千葉市中央区新千葉 3-6-11 TEL.043-238-1830 FAX.043-238-1831

令和2年4月16日に政府による緊急事態宣言をうけ、千葉市議会では新型コロナウイルス対策のため、3密を避け、人との接触を減らし、第2回定例会に臨みました。今後第2波、3波が来ても十分な対応が取れるよう議会一丸となって働いて参ります。

これからも皆様方の負託に応えるべく、安心安全なまちづくり「住んでよかった、これからも住み続けたいと思える千葉市」を目指し、邁進してまいりますのでご支援ご指導の程よろしくお願ひいたします。

植草たけし

千葉市議会 令和2年第2回定例会 議案質疑に関するご報告

1. 補正予算の専決処分について

このたびの新型コロナウイルスの感染症対策のため、これまで3度にわたり編成された補正予算が、市長の専決処分で行われ、臨時議会は一度も招集されませんでした。

専決処分は「特に緊急を要するため議会の招集する時間的余裕がないことが明らかであると認めるとき」として自治法により例外的な措置として明確に位置付けられています。

しかしながら、保健所を擁する保健福祉局の過度の負担等の配慮や市民への早急な対応を実行する上で理解はできるものの、今回の定例会が開催されるまで、一度も臨時議会が招集されなかったのは、全国の政令市の中で本市のみでした。

Q なぜ専決処分で行われ、臨時議会の招集しなかったのか、その理由をお聞かせください。

A 新型コロナウイルスによる市民や事業者の方々への影響は日々深刻化していたことから、各種の支援策を一刻も早く実現するためには、補正予算を早急に編成する必要がありました。このため、あらかじめ正副議長及び交渉会派の代表者のみなさまに御説明の上、補正予算を専決処分することとしたものであります。なお、専決処分を行った補正予算については、本議会での御承認をお願いすることとなりますが、それぞれの事業の詳細については丁寧な説明を尽くして参ります。

2. 特別定額給付金給付事業について

特別定額給付金事業の給付開始日については、市区町村において決定するものですが、緊急経済対策の趣旨を踏まえ、可能な限り迅速な支給開始を目指すものとされてきました。

しかし、5月中に郵送申請の受付を開始し、給付もされている自治体が多い中、本市では郵送申請の受付開始が6月1日から、給付も中旬以降となるなど対応が遅れていると感じます。

Q 給付事業に対する十分な処理体制をとれていないのではないのでしょうか？ また、生活困窮者に、より早く給付を行うため、他市のように申請書のダウンロードによる先行申請を行わなかったのは、なぜでしょうか？

A 約46万世帯の市民の皆様へ、一日も早く給付するためには、申請書の発送・受付から、問合せや不備があった場合の対

応等、そして給付までを一元的に管理し、正確に行うためのシステムが必須となり、この構築に所要の期間が必要となったものです。また、申請書ダウンロードによる先行申請は、システムがない中で手作業により処理することになり、事務が煩雑となり審査ミスを生じる恐れがあるほか、全て手書きの申請書となるため記入不備が多く、審査に時間がかかることで、全体の給付スケジュールの遅れにつながる危険性があることから、本市では行わないこととしました。



3. 事業者向け臨時相談窓口について

新型コロナウイルス感染症対策により、市内経済は大きな影響を受けており、自粛要請などにより休業等を余儀なくされた中小企業や個人事業主等への支援が必要となっています。

本市においては、各支援を一元的に御案内する「事業者向け臨時相談窓口」を設置したことは、事業者に寄り添った対応であると高く評価しておりますが、一方では臨時相談窓口の電話がなかなか繋がらないという意見も聞かれます。

Q 今後も今年度いっぱいこの窓口を継続していく予定になっておりますが、必要とする方に支援が行き届くために、現在の体制と、どのように改善していくのかを教えてください。

A 6月1日時点で、市職員4人と専門家である社会保険労務士が3人、中小企業診断士が2人の計9人の体制としており、専門家による経営相談、労働相談の他、国の制度である「持続化給付金」や「雇用調整助成金」、県の制度の「中小企業再建支援金」、市独自の制度である「テナント支援協力金」などについて、お待たせすることなく対応しております。

一方、国の支援制度は何度も改正が行われており、申請にあたりサポートを必要とする方からの問い合わせも想定されます。そこで、電話による事前予約を受け、三密にならないよう環境に配慮しながら、社会保険労務士による面談などにより、きめ細やかな申請手続きのお手伝いを実施して参ります。

なお、今後も国の制度の改正や延長などに対して、制度利用希望者が迅速に支援を受けることができるよう努めて参ります。

4. 新型コロナウイルス感染症対策について

新型コロナウイルス感染症の行政機関としての対応には、医学的なアプローチだけでなく、経済分野のものや危機管理的要素など多岐にわたる体制作りが必要であり、新型コロナウイルス感染症対策本部を設置しています。

Q これまでの市内の感染状況と第2波への対策について教えてください。

A 市内の感染状況は、3月下旬から感染者数が徐々に増加し、4月上旬には、感染経路が不明の新規感染者が高い割合を示すなどピークを迎えましたが、今は患者数が減少し、少し落ち着いてきたと認識しております。

第2波への対策ですが、今後、第2波が来たとしてもそれらをいかに小さなものに抑えるかが重要であり、市民には、引き続き「三つの密」の回避や人と人との距離の確保など、「新しい生活様式」を継続可能な形で各自の日常生活に取り入れていただくこと、事業者には、業界ごとのガイドラインなどを基に感染管理が徹底されるよう働きかけて参ります。

また、感染者の増加に備え、医療提供体制や検査体制の確保に努めるとともに、その他の感染症が流行する冬場の感染予防対策を推進して参ります。

Q PCR検査及び抗原検査キットの保険適用に伴い、保健所を有する千葉市での対応はどうなったのでしょうか。

A PCR検査が保険適用されたことに伴い、医療機関が自院や民間検査機関で行った検査については、行政検査と同等の取扱いとなることから、当該検査費用の負担を患者に求めず、本市が負担することとし、医療機関と契約を進めて参ります。なお、抗原検査キットを使用しての検査についても同様の取扱いとしております。

Q 保健所の関連事務作業の体制強化のため、「新型コロナ保健所業務支援クラウドパッケージ」を導入したと聞いていますが、導入の経緯、ランニングコスト、無償提供終了後の対応についてお伺いします。

A 千葉市保健所では、これまでPCR検査の結果や患者情報などのデータファイルをそれぞれ独立して管理しており、入力や照合に時間を要しておりました。改善策として、5月23日より「新型コロナ保健所業務支援クラウドパッケージ」を導入しました。これは、民間事業者が全国の希望する保健所に対し、無償提供するものであり、導入したことでデータの一元管理が可能となりました。

なお、無償提供される期間は4か月であり、その後のコストはライセンス使用料や回線接続料などで月40万円程度を見込んでおります。

これとは別に、5月に国が、より効率的に患者等に関する情報を収集し、地域の関係者の間で共有するため、新たな情報把握・管理システムを全国で導入しました。本格的な活用は今後ですが、このシステムを活用することで、国への報告等の事務負担の軽減が図られることとなります。

Q 一般の病院や診療所では、市民が受診を控える傾向にありますが、医療機関での減収の対応についてお伺いします。

A 新型コロナウイルス感染症患者の増加に伴い、不急の手術の延期や院内感染の不安から新規患者が減少するなど、入院・外来ともに患者数が減少している事は認識しております。

医療機関に対する支援として、経済対策の一環としての持続化給付金の活用や、マスクなど必要物品の支援、患者が受診しやすいようオンライン診療を実施する医療機関のホームページでの周知などを実施しております。

また、国では第二次補正予算案の中に福祉医療機構による無利子・無担保等の危機対応融資の拡充や、診療報酬の増額なども含まれ、全国的な課題であることから、国の動向を注視して参ります。

4. GIGA (ギガ) スクール構想について

これからの時代、PC端末は学習に必要な不可欠な道具の1つになります。GIGAスクール構想を進めることにより、1人1台端末環境を実現し、千葉市の学校教育の質をさらに向上させていくことが非常に重要だと考えます。ただし、この実現には多額の経費が必要となります。今回、端末の導入やネットワークの拡張にかかる経費については国からの補助等がなされているとのことですが、これらについては保守費用や更新費用など今後継続して相当な費用が発生することが考えられます。

Q GIGAスクール構想について、1人1台端末を整備するだけでなく、それをどのように活用していくかが重要だと思われませんが、具体的にどのようにお考えでしょうか。

A 今年度中に3学年分、来年度までには残りの全ての学年分について端末を整備する予定ですが、これまでの教育実践とICTを組み合わせることにより、日頃の授業の質を向上させ、教師・児童生徒の力を最大限引き出す教育を実現したいと考えております。

具体的には①一人一人の考えをお互いにリアルタイムで共有し、双方向で意見交換する協働的な学び②インターネット等を用いた調べ学習や写真・音声・動画等を用いた多様な資料・作品の制作など創造性を育む教育③一人一人の教育的ニーズや学習状況に応じた、知識・技能の習得等に効果的な個別学習などを、より一層充実していきたいと考えております。

【たけしの考え】

今回、新型コロナウイルスについて重点的に議案質疑をさせて頂きました。このような未知のウイルスに対して日本国内すべてにおいて対応が手探り状態でした。国が対応策として予算付けをし、市で独自の対応策が出来るか、いち早く手続きを取り、応じられるかを問われた感があります。この様な中で災害が起きたらどの様に対応しなければいけないか考えさせられる機会です。まだ収束とは言えませんが、何があっても迅速に対応できる様、準備を怠らず備えていきたいと思っております。

活動ネットワーク

千葉市青少年相談員連絡協議会理事
千葉県立幕張総合高等学校同窓会副会長
千葉市社会福祉協議会西千葉地区部会監事
法政大学経済学部同窓会常任幹事
緑町中学区青少年相談員連絡会会長
保護司
登渡神社登渡会副会長
千葉市消防団1分団3部部长
薬物乱用防止教育講師

主な役職・所属委員会

自民党会派幹事長
議会運営委員会委員長
総務委員会委員



facebook.com/uekusa.takeshi